

教科		選 定 理 由
各学科に共通する教科（共通教科）	国語	程度が本校生徒の実態に即し、内容が教科・科目の目標に適合している。また本文、表現等が正確である。
	地理歴史	内容が教科・科目の目標に適合している。また、内容が系統的であり、配列や関連付けも適切である。
	公民	内容が教科・科目の目標に適合している。また、内容が系統的であり、配列や関連付けも適切である。
	数学	内容が教科・科目の目標に適合している。また、難易度が本校生徒の実態に適合しており、表現が的確である。
	理科	程度が本校生徒の実態に即し、内容が教科・科目の目標に適合している。
	保健体育	程度が本校生徒の実態に即し、内容が教科・科目の目標に適合している。
	芸術	内容が教科・科目の目標に適合しており、適切な創意・工夫がなされている。また、障がいその他の特性の有無にかかわらず生徒にとって読みやすいものになっている。
	外国語	程度が本校生徒の実態に即し、内容が教科・科目の目標に適合している。
	家庭	程度が生徒の実態に即し、適当である。また、内容が系統的であり、配列や関連付けも適切で分量もよい。
	情報	記載内容が、教科の目標に適合しており、生徒のレベルとも合致している。
	理数	
主として専門学科において開設される教科（専門教科）	農業	
	工業	
	商業	記載内容が、教科の目標に適合しており、生徒のレベルとも合致している。
	水産	
	家庭	程度が生徒の実態に即し、適当である。また、内容が系統的であり、配列や関連付けも適切で分量もよい。
	看護	
	情報	
	福祉	